

常総市総合計画審議会会議録

と き 平成29年7月25日（火）
午後1時30分から

と ころ 常総市役所議会棟 2階 大会議室

常総市総合計画審議会会議録

平成29年7月25日（火）午後1時30分から第2回常総市総合計画審議会を常総市役所議会棟2階大会議室に召集する。

会 議 日 程

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議事録署名人の指名について
- 4 前回のおさらい
- 5 議 事
議案第1号 じょうそう未来創生プラン基本構想案について
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

出席委員 水野 昇 岡野 一男 倉持 守 入江昭三郎 藤島 忠夫 中山美代子
篠崎 孝之 海老原和子 坂入 健 長岡 徳樹 尾上 孝俊 滝田美井子

欠席委員 倉持 創一 塚本 治男 生井 邦彦 寺田富次郎 五木田裕一 沼尻 保

事務局 総務部長 荒木 悟志 行政経営課長 小林 寛明 行政経営課長補佐 神達 隆樹
行政経営係長 落合 宣之 行政経営係 谷田部裕司

行政経営課長

只今より、第2回目の常総市総合計画審議会を開催したいと思います。本日は、お忙しいところお集まりいただき誠にありがとうございます。この審議会は、設置条例で「委員の半数以上が出席しなければ会議が成立しない」となっておりますが、本日は出席委員は12名となっております。会議が成立していることをご報告申し上げます。続きまして、本日の資料の確認をさせていただきます。

まず本日の会議次第、7月21日版じょうそう未来創生プラン冊子、こちらは前回お示ししたものに修正を加えています。まちづくりの主要課題と施策の大綱(案)、こちらは、事前にご審議いただく内容ということでご自宅に送付させていただいたものです。第1回でご質問をいただきました回答書、別紙1、2、3です。それでは、会議開催に先立ちまして、会長よりごあいさつよろしくお願いたします。

会長

お忙し中、委員の皆様には総合計画審議会にご参加いただきありがとうございます。本日の案件は、じょうそう未来創生プラン基本構想案についてということで、庁内組織の専門部会と策定委員会の意見を踏まえた案に対しまして、皆さまのご意見をいただきたいという方向で進めたいと思います。この後、事務局より説明を求めまして協議を進めてまいりますので、十分な審議よろしくお願いたします。

行政経営課長 審議会設置条例第4条により、会議の議長は会長が務めることになっておりますので、倉持会長よろしく
お願いいたします。

会 長 それでは、次第3 議事録署名人の指名について、指名をさせていただきますがよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

会 長 それでは、議事録署名人に、「海老原和子委員」「坂入健委員」を指名しますのでよろしくお願ひします。

会 長 次第4 前回のおさらいについて、事務局より説明願ひます。

行政経営係 (資料に基づき説明)

会 長 ただいま、前回の皆様方より質問をいただきました3項目、合計特殊出生率、現計画の達成率をわかる範囲で教えてほしい、近隣自治体へなぜ転出したかというアンケートに基づいた報告でございましたのでこの報告に対してご質問等がありましたらお願いいたします。

会 長 質問無しということで次に進めてまいります。

続きまして、次第5 議案第1号じょうそう未来創生プラン基本構想案について、事務局より説明願ひます。

行政経営係 (資料に基づき説明)

会 長 　　ただいま、事務局から説明がありました点、主要課題と施策の大綱案についてご意見を頂戴したいと思
います。まず、1 市民参画の推進に向けて、2 保健・医療・福祉の充実に向けて、のご意見をいただき
たいと思います。

海老原委員 　　1 ページ目右側の③の市民協働・コミュニティ活動・男女共同参画のところですが、男女共同参画という
ところからDVの防止とかワークライフバランスの推進とか、そういった言葉も今後入ってくるのでしょ
うか。確認です。

行政経営課長 　　ご意見につきましては、反映させていただいて、今後、構想に入れていくか、構想を踏まえて作成する基
本計画に入れていくか検討していきます。

水野委員 　　施策大綱1の①都市間交流・国際交流に「道の駅」整備による交流機能の強化とうたってあるが、これは
議会でも「道の駅」というのは決まっていない。構想に載せるのは良いが、良いとか悪いとかではなく、き
ちんと手順を進めたうえで進めてほしいと思います。構想が生まれたときは、最初に執行部から言ってしまう
のではなく、議会の承諾を得なくともできると思うが、説明をしてから構想を打ち出して、それから市長
が説明していただきたいというのが私の考えです。

行政経営課長 　　「道の駅」との表現ですが、この書き方ですといかにも決定したように見えてしまいますので、表現はも
う一度注意したいと思います。

水野委員 　　本来であれば、「道の駅」はどこでやるのか、まだ決まっていないということです。本来であればこのよ
うな構想は、やるからには手順を間違わないようにやってほしいと思います。今の常総市の展望を見たとき
に、やらなくてはならないと思う。誰だってこれは大事なことだ。でも一応手順は踏まないと良くない。コ

ンサルタントも熟読して理解していると思うが、みんな持ち家が違うので判断がつかない。分野、分野でわからないこともあり、執行部には参考にしていただければと思います。

岡野委員

①都市間交流・国際交流の中で、都市間交流の促進や姉妹都市締結の検討、その後の異文化交流が書いてあるが、具体性というか抽象的なので、地域性も絡んでくると思うがそういったところまで含んでの検討はある程度進めているのか。あるいは異文化との交流もどの辺の国籍というか、異文化との機会拡大を考えているのかをお尋ねいたします。

行政経営課長

先ほど申しましたように、今この時点では構想ということですので、具体的な面までは記載はしておりません。このあと、基本計画の中で、今、岡野委員がおっしゃっていた具体的な内容をどこまで記載できるか検討していかなくてはならないかなと考えています。この時点では、かなりぼやっとした異文化交流ですとか、姉妹都市ですとか、他の市町村でも取り組んでいることですので、我々としても前向きに考えていくということで概要を記載しているところです。構想と計画という意味で、現段階では構想ということで記載してますので、具体的な計画はこの後になるという考えです。

入江委員

只今、岡野委員さんから意見が出ましたが、外国籍住民との交流とはどのようなことをやってきているのか。そしてさらに拡大していきたいという考えがあるのでしょうか。そして、常総市にはどのくらいの世帯数、いわゆる外国籍の方がいらっしゃるのか、できたら子どもの数と親の数を分けてお答えいただければ、わかる範囲で結構ですので教えてください。よろしくおねがいします。

市民生活部長

市民協働課の方で国際交流サロンということで2度ほど実施して、この前、3回目を実施した。主に、ペルー、ブラジル、スリランカ、ウクライナ、フィリピン、そして日本の方ということで1回目実施した。2回目もペルーの方、ブラジル、フィリピンの方が参加している。常日頃の常総市における生活の悩み、どう

いう交流をしたらよいか色々な相談が行われております。特に、納税の関心なども出たりしていて、どうい
うふうにやっていって共生していったらよいかといったところで模索をしている状態です。今後、子どもさ
んを交えたところでの料理教室なんかでもぜひ参加してくださいということで呼びかけはしております。市
民協働の方で現在2名ほど主にブラジルの方に対しての翻訳やら通訳やら臨時職員の方を備えていますので、
そのサロン以外でも随時そういう風な交流の助言やお手伝いはしているという状況でございます。

行政経営係長

外国人の内訳については、常総市6月現在の総数ですが4,627名、世帯数が2,225世帯になりま
す。子どもの数までは内訳を把握しておりませんが、そのうち、水海道が2,486人、石下が2,141
人という内訳になっています。

藤島委員

市民生活部長が話していたことに加えて、市のホームページもポルトガル語で対応するとか、外国籍の市
民の常総市での生活の不便さを極力解消できるようにやっています。これを日常生活の利便性の確保と併せ
て、交流を図ることによって外国籍の方同士の交流を図ること、又は日本人の方との交流を図ることも、市
の方向として今回構想として打ち出しますよというような視点でここは記載させていただきますので、補足
になってしまいますがよろしく願いいたします。

会 長

このほか、よろしいでしょうか。なければ次の、3 学校教育・生涯学習の振興に向けて、4 生活環境
の充実に向けて、事務局より説明をお願いしたいと思います。

行政経営係

(資料に基づき説明)

会 長

ただいま、事務局から説明がありました。3 学校教育・生涯学習の振興に向けて、4 生活環境の充実
に向けて、ご意見をいただきたいと思えます。

岡野委員

学校教育・生涯学習の振興に向けての中で、今、市民憲章というものがあるかと思います。それぞれの地区の公民館などに掲げているわけですが、この市民憲章の精神というものはこの中にうたわれているとは思いますが具体的にそれが出てこない。どういった形の位置づけを考えているのか教えてください。

行政経営課長

市民憲章ですが、手元で調べましたら5つございまして、1つ目は、自然を愛し、美しいまちをつくりましょう。2つ目は、お互いに助けあい、明るいまちをつくりましょう。3つ目は、元気で働き、楽しいまちをつくりましょう。4つ目は、きまりを守り、清らかなまちをつくりましょう。最後に、文化を育て、豊かなまちをつくりましょう。ということで、概ね全般的には総合計画の中に市民憲章という考え方は継承していると思います。岡野委員がおっしゃるように、私たち常総市を愛するまちというのは幼少の頃から常総市に愛着を持っていただいて、これから生産年齢人口を定着させていくことから考えもあります。

岡野委員

具体的に市民憲章というような名前は出てこないのですね。例規類集のトップあたりにでていますね。これは市の憲法といいますか、目標として定めている内容かと思います。

行政経営課長

市民憲章といえはある意味、市のまちづくりのテーマとなるものなので項目の掲載というようなことで検討させていただきたいと思います。なお、ご審議いただいています基本構想の中には、諸計画名はあえて省かせていただきました。やはり構想というのは最上位に位置づけられるものですので、今回、福祉計画ですとかすべて省かせていただいて、今後の基本計画の中から個別計画の名称は記載するように意図的にそういった形に構成させていただくことになったことをご報告申し上げます。

入江委員

2つほどご意見申し上げますが、29歳以下の若年層や高校生、小中学生の「定住意向」が他の年代よりも低いということですが、どういう項目のアンケートを実施していたのか、勉強不足で申し訳ないが教えて

ください。もう一つは、今後も理数教育に関する教材備品の充実や云々という非常に大切なことなんですが、その最後に、きめ細かで多様な事業の充実を図るといふようなことがあったり、小学校の5年生6年生、特に外国語活動ということで教科になってまいります。そして、各自、地方自治体でオリンピック、パラリンピックに備えて、いろいろな活動に取り組み始めました。あと3年を切ったわけですけれども常総市でも何か考えているのかなということで、そのへんも子どもたちにオリンピックに向けた関心にプラス一生懸命外国語の勉強に取り組めるようなきっかけを作っていただければ、事業の充実はかなり図られるのかなと考えていますのでご意見などよろしくお願いいたします。

行政経営係長

最初の質問ですが、29歳以下の定住意向については、「じょうそう未来創生プラン」をごらんいただき、28ページの部分に小中高校生のアンケート結果ということでこの部分についてアンケートを行いました。そうした中でこういった結果がでております。小学校においては住みよいが71.9%、どちらかといえば住みよいが21.6%という形ででております。中学校2年生につきましても、住みよいが42.6%、どちらかといえば住みよいが40.3%という形で、高校生については住みよいが12.4%、どちらかといえば住みよいが38.9%というところで、年齢に応じて住みよさ意識というものはちょっと減っているというようなアンケート結果がでております。続きまして、定住意向ということで常総市に住み続けたいですかというアンケートを行ったところ、やはり同じような形で小学校5年生はできれば住み続けたい43.9%、中学校2年生ができれば住み続けたいが31.0%、高校2年生が11.3%ができれば住み続けたいということで年齢が上がることによって住み続けたい意識は下がっております。そうした中で、29歳以下の定住意向について、常総市を愛する市民を育てるまちづくりというところでフォローできればと掲載しているところでございます。

学校教育課長

2番目の外国語教育について、ご説明いたします。委員さんご指摘のとおり小学校においても外国語、英語が教科化されます。なんといってもこの点につきましては、課題は指導者の育成であろうかと思えます。

この点につきましては、指導課の方を含め中心に具体的な検討を進めていくことになろうかと思えます。それとオリンピック、パラリンピックについて、何か具体的な計画があるかとの点でございますが、この点につきましては、現在、具体的なオリンピックについて、どうこうという計画は私は把握しておりません。今後の具体的な総合計画に落とし込む段階でこの点についても検討してまいりたいと思えます。

岡野委員

先ほど、入江委員より理数教育の質問がございました。最近は産振がなくなって理振に重点をおいている。そういった傾向にあるのですが、私はものづくりというものが非常に大切と考えております。そういうことで、理数教育の充実ということも書いてありますが、そこにやはり産振関係のものも入れたほうが良いのかなと思っているわけですがいかがでしょうか？

学校教育課長

理振の振興につきましては、国の補助が半分ほど付しまして小学校、中学校の理数教育の充実を図るという面で事業を展開しているところでございます。もう一つ、委員さんご指摘のものづくりの点でございますが、こちらにつきましては、今のところこの点を充実させるという活動はございません。もし、この点を振興させるということであれば、市の単費でやることになり、充実させるということはお答えできないところでございます。

藤島委員

委員なんです、執行部も兼ねているということで、話をさせていただきますと、岡野委員の私なりの考え方とすると、学校教育の充実に向けてということで人材育成の基礎である。なぜ、理数教育が大事なのかという主語の部分に少し加えるか、先ほどの英語教育の必須も国際人の育成とか、そういった国際化の中で活躍していける人材の育成ということで、たぶん英語が必要になっているのではなかろうか。その目的の主語がないために、学校教育は未来を担う人材育成の基礎であるということにつながらないので、ここはロジックが甘いのかなと、私の反省も含めて預からせていただいて、そういう視点でこの表現は書いていければと思っております。

岡野委員

只今の課長の答弁では、産振の補助金は国からなくなり、それでできないのというお話ですが、やはり子どもたちのこと、未来のことを考えると国の方で無くなったから理数しかないんだということではなくて、次の人材を育てるという意味からして両方備えていった方が、単費であろうと私はいいのかなと思います。

坂入委員

国や県の予算があるからやるんだというのではなくて、常総市としての特徴ある行政を進めていくということであれば、独自の政策をやるというのは非常に大切なことだと思う。そういうのを削ってしまうようなことがないようにお願いします。

藤島委員

今の坂入委員のような発想で、常総ホットサタデーは家庭の貧富の差が子どもたちの将来を左右してはいけないと、学習意欲のない方も含めてですが、学習塾へ行けないとか、そういった方への対応として独自のこういったこともやっているの、委員がおっしゃったことは大切な方針としてももう少しここに加筆できるように考えていますのでよろしくお願いします。

(午後2時20分 長岡委員退室)

会 長

学校教育・生涯学習、生活環境について、このほかなければ次の、5 都市基盤の充実、6 産業振興、7 行財政運営について、事務局より説明をお願いしたいと思います。

行政経営係

(資料に基づき説明)

会 長

ただいま、事務局から説明がありました。5 都市基盤、6、産業振興、7 行財政運営についてご意見ありましたらお願いいたします。ご意見等はいかがでしょうか。なければ次に移らせていただきます。

中山委員 下水道のことについてお尋ねしたいのですけれども、せっかく本管が通っているのに町内では入っていないところがだいぶあるので、そういったところはこういったことになっているのでしょうか。

都市建設部長 下水道の普及率のことと思われませんが、下水道課に置かしても普及率を上げるべく随時啓発活動を行っておりまして一軒でも多く加入していただけるように努力しております。

藤島委員 お金がかかるので、個人の負担感があるなど、理由があるのではないかと。

中山委員 私のところは本管が早く入ったが、すぐにつないでやっているが、同じ条件なのに入らない人もいますので、そこはどのような指導をしているのかを聞きたいところです。

都市建設部長 指導といいますか、加入していただけるように努力しているところでございますが、加入負担金を含めまして、個人負担分の工事代金、それと月々の使用料とあります。それと既存の浄化槽が現在使えるという状況があって、なかなか切り替えまでにはいかないというところがあります。

藤島委員 今、中山委員がおっしゃったとおり、せっかく本管をつくっておいてというお話があるかと思えます。行政がどこまで関与できるかという部分と、せっかく作ったのにそれを使っていただいていないというところがあるので、ここでしっかり位置づけして、今後の事業にも移るのだから今の疑問に解消できるように市は努力しなければならないことを、ここで明記しましょうということ。

中山委員 常総市は文化が低いという、上下水道の完備が遅れている。せっかく本管の下水が通っているのに皆さん協力しないというのはちょっと。

藤島委員

市の方の関与が弱いのか、その他の要因があるのか、今せっかくご指摘いただいたので部長が今日来ておりますので担当課ともう一度協議して、基本構想をどうするかというところも合わせて、それ以前に日々の下水道行政をどうするかという視点のご意見を承りましたので少しお時間をいただければと思います。

坂入委員

私は石下町に下水道が入った時の下水道審議委員をやっていたが、その時、一番大きな問題は個人の負担金の問題が大きくて、それがふつう町内の人は水道の使用料金とリンクして下水道の料金を払うということだが、このような中小都市になると、宅地の雨水の処分が大きな量を占めるので宅地の面積に比例して費用負担をプラスしてもらおうということになる。個人的には負担感が大きいと思う。あと、本管と敷地から自宅までの距離が長いのでその間の個人の工事費がかかる、新たな水洗のトイレに直すために、トイレそのものを直すということでなかなか難しかったことを記憶しております。これから下水道の普及率を上げるということで、今、何%かわかりませんが10年とか20年とかで何%上げるなどの目標を作って市が支援していくようなことを考えていかなければ普及率は簡単には上がらないと思います。

会 長

先ほど、副市長の方からもありましたとおり、検討を進めていったらどうかということでしたのでお願いしたいと思います。

坂入委員

行財政運営の効率化ということで、二番目の財政運営ということで常総IC周辺地域整備事業などによる新たな自主財源の確保、とありますが、ここのところの整備手法と、なぜここで財源が増えるのかその理由を教えてもらいたい。

都市建設部長

常総IC周辺地域整備事業の整備手法でございますが、業務代行方式による組合施行、土地区画整理事業によりまして市街化編入を目指すというところではあります。自主財源の確保でございますが、市街化編入後の法人

事業税，固定資産税等々でございます。

坂入委員

私も専門が面整備をやったのでお話ししますと，今，区画整理事業は制度仕組みそのものが非常に苦しい状況です。簡単に土地が処分できて，そこに工場なり商業施設なり立地するかというのは非常に難しい。簡単に書いてありますけれども非常に難しいのではないだろうか。

水野委員

産業の振興ということと，7番目の財政運営の効率化についての執行部にお願いがあります。常総IC周辺地域整備事業の地域農業の担い手の確保や6次産業の促進，交流拠点機能の強化など名文句が入っていますけれども，必要な文言と私は思っておりますが，今の状況では，地域農業の担い手の確保や6次産業の促進があるが，私のところにも色々打診が来ている。これはアグリサイエンスバレー構想も関わってくると思いますが，こういう名文句を入れるのは当然なのですが，執行部が逆流しているということがあるということも，この場で皆さんに知っておいていただきたいと思います。これを入れるからには，何かの会議を通してしっかり計算し，勘案して浸透していくようにしてもらわないと困る。圏央道を通して6次産業化になりますか。良いとか悪いとかでなく，反対しているわけではないが，むしろやらなくてはならないがどういう活性化が図れるか，やることは大変である。本当に町の活性化につながればよいが，ちゃんと調査して手法とか取り入れてもらえればと思います。市民の優秀な皆さんがいますので，いいところを聞き入れて議会と執行部が一体となってやっていくことが課題だと思います。

入江委員

常総市はやっぱり交通は不便なんですか。アンケート結果で56%出ていますけれども，満足，やや満足で11.1%それで自家用車に頼らない工夫を考えるんでしょうけれども，これから免許証を返納しなければならない時がくる。他の自治体では自主的に返納した場合には何かしているということである転出した理由の交通が不便に輪をかけることになるのかなと感じる。ですから，免許証の返納者には何か考えているのかどうかを質問させてください。

会 長

今、入江委員からありました免許証の返納ということは議会の中でも話は出てきております。それは執行部からのご意見等ではなくて検討課題はどういうものがあるかとなっているのでお答えできればお願いします。

行政経営課長

免許証の返納につきましては、全国的に国土交通省の方から色々取り組みについての調査が来ており、倉持会長がおっしゃったように市議会の方からも取り組みについての検討のお話がありました。実際に担当課と高齢福祉担当と公共交通の担当と3課で調整を行って、前向きな具体化に向けた調整を行っているところです。来年度の4月には実施できるような代替措置を考えている。

岡野委員

産業の振興に向けて、農業、商業、工業の将来的なことを見越しての内容かと思うが、これをみると常総ICでストップしているように感じがする。これから先のことを考えていけば、次の目標に向かっていくべきだと思うのですね。土地の利用計画を見ていきますと、やはりこれからの伸びしろは川の西側の平地があって、そこに南北の道路があって、整備されております。そういうことを考えていくとスマートICとか、つくばの方でも色々やられていますが、この地域の農業、商業、工業そして観光、そういうことも発展に繋がってくるのではないかなと思う。そういうこともこの構想に加えられていったらいかがでしょうかということです。

行政経営課長

この書き込みを見ますと、IC周辺の開発で終わってしまうような感じを受けてしまうかもしれません。農業、商業、工業の振興につきましては、拡大していく方向には変わりないと思いますが、今後基本計画を練っていく段階で市民委員会、また、庁内委員会等で議論していくことになるのですが、IC周辺は平成34年ということですが、こちらの計画は39年の10年先の計画でございますので、そこを見据えた産業の振興という計画案のご提案ができるように考えております。

坂入委員

2つあるが、1つは防災のところ、水害の話は書いてあるが、震災の時に水海道は被害を受けている。これから起きる地震が起きる、防災先進都市として配慮が必要ではないかなと思っています。もう1つは、先ほど入江委員から話がありましたが、私たちも高齢者、間もなく後期高齢者になるということで色々な面で後期高齢者が40%から間もなくこの計画が中盤に差し掛かる頃は、後期高齢者が大部分となってしまうのではないかと心配している。そういうことで、もう少し後期高齢者ということ意識して見ていった方がよいのではないかと。例えば、2の保健のところの高齢者福祉、生涯学習のところ、先ほど出ましたが市民の足、免許証を返納する際に何かしていただけるということであった。皆さんが考えている以上に重要なのが関東鉄道である。関東鉄道を中心とした交通体系を新たに考えていかないと常総市の場合は、いずれにしても交通不便な地区ばかりになってしまう。ですから西側幹線を引いてもそれは道路なんですね。そこに路面電車でも通る画期的な発想が出ればよいけれども多分そんな話はでてこないでしょうから、そうすると基本的には車で動くということになってしまうので、年寄りが移動できる、移動した先で健康的な時間が過ごせるといった、全体としたところを見ていただきたい。

行政経営課長

ご指摘ありがとうございます。ご指摘いただいた防災の関係とその対応について、公共交通体系のあり方は、いただいた内容をワーキンググループ等に返しまして掲げられれば、掲げたいと思っています。

藤島委員

今後の高齢者の生きがいであったり、基本計画の中で、今の意見を良く踏まえて考えていかないと高齢者というとすぐ福祉に入ってしまうのだが、そうではなくて、産業の雇用にも入るかもしれないし、生涯学習にも入るかもしれないのでアウトプットを想定して幅広くやっていけるようにします。

水野委員

産業の振興に向けての話ですが、新聞にも農業の緩和策など載っていた。都市計画が全然違うのですから、やるときにはきちっとした手順を踏んで、玄関前に公示するだけでなく地権者、地域に説明責任を果たして

から改正するなら改正する。県の条例よりも常総市は難しい。今から企業の発展を阻害するのは、細かく言うところにもある。執行部にも総合計画にも合わせて対応してもらいたい。それを補って新しいまちづくりをやるならやる。本来であれば議会でいうべきことではと思いますがお話しさせていただきました。

会 長

じょうそう未来創生プランについてご意見をいただきましたが、次に移らせていただきたいと思います。その他でございますが、ご意見をいただきたいと思います。只今、3つに分けて検討いただきましたけれども最後に全体的なところで施策の大綱についてご意見いただけましたらお願いします。

篠崎委員

素晴らしいまちづくりの主要課題が整理され、これを100%達成すれば生まれ変わるのではないかと思います。冒頭に前回の計画の達成率が50%弱ということでしたが、最初の会議の際にも申し上げたとおり、重要課題を選んでといった感じがする。その中で2番の保健医療福祉の充実に向けてというところで、安心して子育てができるまちづくりということで、今全国的に人口減、少子化が進んでおり常総市も流失し減少している。原因は色々あると思うが、市の発展は市の人口増が大切で、つくばみらい市、守谷市などは人口増ということで盛り上がっているが、その中で、施策の大綱の少子化対策・子育て支援がありますけれども、市長の選挙公約に第2子誕生以降は何らかの補助金が出るということがあったと思う。色々課題はあると思うがやはりだれもが安心して子育てできるまちづくりを考えたときに、この市で子どもを産める環境づくりが一番大事ということを考えれば、補助金に力をいれてやっていたらと思います。私も昔の結婚相談員に携わっているが、その中でふれあいパーティを年3回やっているが、その中で、この頃結婚まで行かなくても達成率というか、カップルの数が増えている。ただ女性の参加が少ないのが残念だが、私も力を入れているが、予算も少ないので思ったような事業が展開できていないさみしさがある。ない予算の中から工面するは大変だと思いますが、力を入れていただければと思います。

行政経営課長

子育てばかりでなく、その前の出会いの場、そういった常総市に定住できるような取り組みというご意見

があったということを計画の中で反映させていただきたいと思います。

会 長 時間もだいぶ経過しておりますので、最後の質問とさせていただきますが、質問がなければ以上をもって本日の協議を終了したいと思います。ご協力ありがとうございました。

ここで進行を事務局の方にお返しいたします。

行政経営課長 慎重なご審議ありがとうございました。それでは次回の会議の開催なのですが、8月10日午後1時30分からを予定しております。場所は、本庁舎3階の庁議室になります。本日お時間のない中で、様々なご意見をいただきましたが、ご自宅に戻りまして意見がありましたら、8月1日までにご連絡いただければ、ご意見を伺いにまいります。次回8月10日が冒頭に申しましたように市民にお示しする、議会に中間報告するとりまとめとさせていただきます。よろしく願いいたします。

行政経営課長 以上をもちまして、第2回の総合計画審議会を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。

(午後3時5分 会議終了)

上記の議事の正確なることを証するためここに署名する。

平成29年8月10日

常総市総合計画審議会

会 長 倉持 守

署名人 坂入 健

署名人 海老原和子